THE WOMAN'S WEEKLY
第三卷第二十八號
大正四年七月十三日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□避暑生活……小橋三四子
□時事週評……
□麗はしき母子の愛…服部他助
□短歌……安中花子
□自由な婦人圖書館……記者
□應接間の五分間「毎夏靈的研究に入る廣岡淺子女史」……記者
□いろくの社會「氷の世界」……民子
□同じ趣味に結ばるゝ理想の家庭……I子
□稀れに見る生々した授業……K子
□征服か救濟か……澤田斷雲
□新刊紹介……
□汗をかく人……松下[illegible]評
□茄子の和洋調理法……手塚かれ子
□オハナシ「自然兒」……琴子
□小說「雜草」……茅野雅子
□見合失敗物語「兄弟の相違」…近藤浩一路
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵稅五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和洋 裁縫講習録

共立女子職業學校教師
文部省檢定委員數氏及大家博士 執筆

卒業一ケ年
月謝僅に卅五錢
三ケ月一圓・一年三圓六十錢
（美本每號百六十頁）

自宅獨習生徒募集

和服裁縫科
小物及細工物科
洋服裁縫科
袋物科

國民道德
裁縫教授法
教育學
洗濯色染
▲檢定試驗問題解
▲質疑應答等

裁縫だつて學校で敎へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業さ同樣の實力を充分に授く。

小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初步より高等裁縫迄敎授す。

完結の後は各科別に綴れば、それ〳〵立派な大部な書物となり、常に机上にありて敎導す。

良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を賴りに勉强し、敎科書無しに地理や歴史を習ふ樣な不便がなくなる。

内容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚嘆し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路
日本裁縫教育會
電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

中元暑中の御贈答には御履物が一番

物價騰貴の今日何を撰むべき？

比較的騰貴せぬ御履物が一番格安で實用向でございます
御贈答向お仕着向其他各種流行品澤山取り揃へました
何卒續々と御用命の上に御好評の程をお願ひ申上げます

美術傘履物商
龜屋商店
神田區小川町一番地
電話本局三一九四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

避暑生活

新らたに仙郷を作れ

□自然を知らぬ都會生活

近年都會生活は漸く繁劇を加へ、市中の子供等は家にあつては草一本にさへ親しむ餘地を持たぬは勿論學校の校庭も僅かに運動が出來るといふのみで、中には塵埃を防ぐ爲めにアスフアルト等を敷きつめてあつて、軟かい土の味を知ることが出來ぬ所もあります。僅かに公園があつても、技巧的で「この柵内には入るべからず」「この枝折るべからず」と制札付きの場所が多く、子供等の自由な心には添はぬ事が多うございます。もし經濟が許せば都會の子供は夏中だけでも廣い自然の天地の中に、放ちて遣つたら、どれ程心身を大きく延ばす上に利益があらうかと思はれます。

□避暑生活は贅澤に非ず

避暑生活は金持ちの贅澤な遊びと心得るのは大きな誤りですまた抵抗力の無い病人や子供を保護する方法とのみ思ふものも間違ひであります。避暑即ち夏の旅行や轉地には、もつと積極的の利益がなければなりません然し我が國人の風習とするやうに、都會は離れても、料理屋、旅館の立て込んで居る處や、交通の便の開けた便利の場所斗り望んで居つては、大した利益もありますまいが、隱れた避暑地を探し出して、此處に一と夏を送らうといふには、さま〴〵の面白い教育を受ける事が出來ます。

□殖民的氣風養成

第一に殖民的氣風を旺ならしむる事が出來ます。今日のやうな試驗制度、注入教育に疲れて居る青年等は、明治初年の學生等がロビンソンクルーソーを愛讀して、其の冒險生活を憧憬した時代に比すれば、遙かに勇氣が衰へて居ります。何れも早熟して小成に安んじて終うにあらざれば、投機的の僥倖ばかり夢みて居り、額に汗して、我が手足を勞して天地を開かうとする神聖な大望を缺て居ります。それ故就職難、生活難の劇しい都會に斗り蝟集して、北海道や臺灣、朝鮮さへも、殖民事業が行はれ難いのであります。もし夏中でも不便な土地に在つて、山林に薪を集めて米を炊き、泉を探ねて咽喉を潤すやうな原始生活に立ち歸つたら、必ず其の生活を快くする爲めさま〴〵の工夫や發明が行はれて、文明に馴れた日常生活の有難味を知ると共に、虚僞虚禮に捉はれた其生活を批判して、眞に生活の要素を見出す斗りでなく、一人荒野に手放されても、其處から周圍を開拓して行く自信を養はるゝ事になりませう。

□共同自治の精神

日本の避暑地は大方西洋人か貴族、富豪の手によつて開らかれたやうです。それ故青年學生や、中流社會の人には不適當な風俗が作られて居ります。甘んじて一人平民生活を續ければ、却つて人々から異樣に注目される不愉快を忍ばなければなりません。それよりは一番の勇氣を振つて未開の土地を開き仙郷を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

作つたら面白からうと思はれます。

未開の土地を開くに日本人の最も不便な性質は共同心と自治心の缺けて居る事です。普通の避暑地の不快を感じて居る二三の家族が協議して、共に新らしい避暑地を開拓すれば、一家族でするよりは遙かに致し易うございます。そして追々其の地に入り込む人々は開拓者が中心となつて、一つの制裁ある社會を爲すやうになれば、たとへ幾家族が移り住まうとも、素朴な風を止めて置く事が出來ます。私は毎夏御殿場に避暑して、其の近くに一團を成して居る二の岡の中流洋人の避暑地を見て、感心するのであります。彼れ等は輕井澤の避暑地が漸く繁華となり贅澤に流れんとするを見て、質實な牧師の家庭を中心として此處に避暑し初めたのであります。水に不便な所柄とて、山から引いた一つの泉を中心として百數十戸の家が建てられてありますが、此處には、一つの自治社會を成し、自由な間にも制裁あつて亂れず、いかに多數の人々が入り込んで來ても何れも靜かに自然に抱かれて休養し、勤勞して居ります。もし我が第二の國民に眞に自治的の精神を養ふとならば、單純な夏期の生活に理想鄕を作らしむる事がよい習練であると思はれます。

□自然の恩惠を豊に藏す所

第三に何よりも重い事は、小さい人間の技巧から離れて、自然の恩惠を充分に身に享ける事です。ふくよかな土の香もよく波の舞踊もをもしろく、透明な空氣を通して仰ぐ大空、霞む迄續く曠野、峨々と聳ゆる山岳も大きな世界や宇宙を面の邊りに見る心地がして、小さい自我に苦しんで居る心を啓いてくれます。たとへ子供等は意識なくとも、この大自然に親しむ感化は幾巻の修身書を讀ましむるよりも偉大な教訓を與へることになりませう。そして却つて人に知られぬ未開の地程多くこの恩惠を藏して居るのであります。（三四子）

時事週評

□東北大學の女子特待生　東北帝國大學が女子の爲め門戸を開放したる當時、牧田、黒田の兩女史と共に、最初入學されたる丹下梅子女史は、其の後病氣の爲二ケ年休學せられ、本年第二學年を終へられたるが今回成績拔群の故を以て、來年度の特待生に選拔されました。女子の學校に在つて優等の成績を納めた者が、男子の學校に入つても亦優等の成績を贏ち得た事は愉快な事であります。光榮ある丹下女史の上に健康の加はらんことを。

□電報十割の増加　昨今程電信の遲着の夥しきは無いと云ふ聲は、屢々耳にする處でありますが、それも其の筈で歐洲戰亂勃發以來日に増加して、今日では戰亂當初の約十割は増して居る由です。中央電信局では此の未曾有事に對して出來る丈け滯停させない樣に六百五十名の係員の勤務時間を一二時間づゝ延長して事務に當つて居りますが機械や線の不足に加ふるに、從業員の不足は遺憾ながらこの急場を救ふ事が困難であると申します。一體電信局雇員の定給は日給四十五錢止りで、十年前も今日も大差なく、かゝる境遇に甘ずる事の出來ない青年男女は、忽ち他の職業に移ると云ふのが從業員不足の一大原因であります。今期の追加豫算で四十四萬圓の經費がこれ等從業員の爲めに支出されましたが、これを一人前に割り當てれば一日三錢の増給に過ぎないので、矢張り彼等に充分の滿足を與へる事は出來ないとの事です。政事家連が空騒ぎの政爭に時を費して居る間に、文明に伴ふ機關の缺陷は、諸所に現はれて參りました。地に足を着けて、改善策を行ふ人を今や社會は要求して居ります。

二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

麗はしき母子の愛

一青年の健氣なる最後を見て

服部他助

□一條の清流

厭ふ可き虚僞と粉飾の濁流が到る所に漲つてゐる此の暗黒な社會の中を、恰も水晶の如く透通つた清らかな水を湛へた小川のやうに、親子の間に醸成せらるゝ麗はしい愛情が流れて居る。如何なるものが如何に美はしく、又た如何に清いと云うても、慈母が其の子に對し、又た子が其の親に對して、心に抱く愛の光りほど麗はしく且つ清いものは無い。清朗な秋の月も、綽約な春の花も、其の麗はしさと、清さに於ては、遙かに親子の愛情に及ぶ事は出來ぬ。あゝ、此の清い愛の小川は、社會の如何なる方面を流れてゐても、慥かに其の水面には高い〳〵、貴とき天の影が映つてゐる。

□悲報來る

幼少の時から多年私と最も親しい間柄であつた有望な一青年が、突然極愛してゐた者共の手から、掻ぎ奪られて、此の世を去つたのは、前の月の十三日の早曉であつた。昨年の秋、青年の母君から「二郎が兩三日前から大病で、大分心配してゐます」との悲報を電話で聽かされて、雷にでも打たれた人のやうに驚いた私は、實際其の都ての容體が豫想外に輕からぬ事實を詳細に醫師から聽いて、云ふに云はれぬ深い憂愁と失望とに沈んだ。而して此の同じ悲慘極まる宣告を聽かねばならぬ最大不幸に遭遇された此の青年の慈母の心の中は、如何であつたであらうか、定めて腸を絞らるゝやうな堪へ難い苦痛に襲はれ、血の出るやうな思ひを以て、此の悲哀な宣言を耳にせられたに相違ない。一時は天が如何にも殘忍で、如何にも酷薄で、如何にも無慈悲であると思はれたに相違ない。必ず人が寝靜まつてから、悲哀の情、交々其の胸に迫つて來て、獨り熱き哀哭の涙を含んで、夜を徹せられた事が、幾度もあつたであらうとは、想像するに難くはない。嘗て私は自分の子供が重い腸窒扶斯に罹つて、醫師から悲慘極まる宣言を申渡されて、眞に心の底から異樣に振蕩された事があつた時の經驗を以て、此の母君の心情を推理するも、如何にも堪へ難く感ぜられる。實際私の心では、青年の此の非運を哀しむ悲みと、此の母君の悲しみを、傍から見て堪へ難く思ふ思ひとは、何れが强かつたかは、容易に自分で判斷する事が出來なかつた。

□覺悟した母君の顔

其の後此の青年の病勢は、不幸にも日に增し進む一方であつたが、最も不思議に思はれた事は、去る二月の上旬頃であつたと思ふ。嘗つて私が目撃した事の無い晴れ晴れしい樣子が、何となく此の母君の動作の上に表はれた事であつた。私は此の母君の平常から推理して、之れは正しく愛子の悲運に對して久しい間、如何にも殘念に思ひ、其の心の底に潜んでゐた過度の憂愁と、失望とが、其の最極度に達し、最初は夢では無いかと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思うてゐられた悲慘な醫師の宣言が、日を經るに從ひ、愈よ夢ではなく、其の實現が實際目前に迫つて來る事を最も敏捷に確知された母君は、今は實際如何しても足を佇めて、何とか考へ、何とか心を定めねばならぬ場合に遭遇してゐられる事を自覺されたのであらう。其の刹那心の深い底の一角に一大覺醒が湧き出で「あゝ、かくなつたからには最早世上一般の婦人の様に、此の不幸事に對して、徒らに兒女の涙を學ぶまい」との堅い々々決心が出來たに相違ないと思つた。而して實際は如何なる念慮が此の母君の心を出入してゐたかは、元より他から窺ふ事は出來ぬが、其の數多き念慮の中には、必ず「天命なれば唯々默して、此の最大不幸も甘受せん」との實に謙遜にして雄偉なる念慮があつた一事は、此の母君の外に表はれてゐた沈靜にして寛裕なる態度に依つて判斷する事が出來ると思うた。

□人を偉大にする覺醒

實に『天の大なるに自己の小なるを比較し、此の小を以て此の大を量り知る事の到底不可能なるを明確に悟り、遜讓以て唯々默して全局に對し、善意に充ちた天命の儘に從はん』との此の覺醒こそ、男女の別なく人を偉大にするものである。此の覺醒にして一度人の心の底に認めらるゝにおては、平常懦怯なりと呼ばれ、軟弱なりと判定さるゝ婦人も、其の目前に迫り來る悲哀と暗黑との間に處して、如何なる苦惱にも堪へ得る新たなる力を授けらるゝものである事を見た。而して自己の小なるを捨て、天の大なるを取り、所謂『己れ聰明なり』との凡人の抱く夢想を其の根底より打破し、絶對なる信頼を天に置き『譬へ彼れ我を殺すも、我彼の善意を疑はず』と言ひ得る度合に、天に信頼して、目前に横はる喜憂と浮沈とに注目せず『我れ唯々我が分を盡すの外、又た他を顧慮せじ』との決心一度深き心底に起るに至つて、人は男子にても女子にても、初めて人らしく成ると云ふ事が出來る。而して高妙靈活なる此の覺醒一度心の暗黑を照すにおては、自己と云ふものに對しては、利害も是非も消滅し、其の自ら仰いで凝視する天の大なるに比し、自己なるものゝ餘りに小なるが爲め、人と人との間に造らるゝ賢愚と正邪の差別の如きも、唯々朦朧となるの感を抱くに至る『余は陰鬱なる日暮頃、雪の混れる泥濘を侵して、路なき荒野を横斷し、心中何等特殊の幸福あるを覺えざるにも係はらず、無上の快感を覺え、我が全心は之れを包藏し得ざらん事を恐るゝ迄に、張溢する快感を以て充滿せらる……… 孤り廣漠なる空地に立てば、余が頭腦は爽快極りなき清き大空に洗はれ、卑陋なる自己は全く消滅し、余は玲瓏となり、透明となり、無となる」とコンコードの聖人に高聲を合せて叫ばん事を願ふに至る。

□一言も呟かぬ病者

此處に又た私が最も珍敷く、感ぜられた事は、此の青年が重い病床にあつた九ヶ月間、未だ嘗て一言の不平を洩らし、又は病苦を訴へるといふ事の無かつた一事である。日々四十度内外の發熱があつて、云ひ知れぬ苦しさは全身を襲ふ時にも、又た更に一睡だになし得ず苦悶に苦悶を重ねる冬の長夜にも、未だ嘗て一度も不足の言葉を口外した事の無かつた一事に至つては、何人も唯々奇異の感に打たれてゐたのみであつた。かくして高熱のため、正に

四

眩暈さへ感ずる窮狀にある時にすら、其の慈母又は實兄が病室に入り來るに氣付く時には、必ず笑顏を以て之れを迎へ、若し其の外貌に些少にても憂の色を目擊する時には、かく重態に陷つて、慰めらるべき位地にあり乍ら、母と兄とを慰め、且つ激勵したとは何と偉な事であらう。

□其の平靜は何處か

私は未だ嘗つて大病人として此の青年に見る如き忍耐深き立派なる態度を目擊した事は無かつた。平常宗教家を以て自任する人でも、一朝自ら重い病床に就くに至つては、或は頻りに病苦を訴へ、或は不平を洩し、遂には見苦しき擧動さへ爲す事がある。然るに更に宗教を味ふ事も無かつた此の二十三歳の青年者が、發病の當初から臨終の時に至るまで、深い宗教上の修養を積んだ人も及ばぬ程の立派な態度を、終始變りなく、長い年月の間、守る事の出來た眞の原因は、果して何處にあるかを知

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り度く思うて、私は絶えず沈思默考せざるを得なかつた。

□余が幼少時の經驗

私は此くの如き時の此の青年の心理狀態は果して如何なりしかと云ふ事は、私が嘗つて幼少の時、自分の母に對して心に抱いてゐた念慮が如何なるものであつたかを追懷して、其の幾分かを察する事が出來ると思ふ。私は六歲の時、父を失つた以來、母一人の手によつて育てられた。頼りなき母子は、互に二なきものに極愛し合つて居た。かくして十二歲の時、悲しい母の死に出合つた私の心には、又た再び癒ゆる事の出來ぬ深い傷手を受けたのであつた。兎に角母は私に取つては愛と權威の神であつたのである。一から十迄母の指圖を受けぬ以上は安心がなく、母が外出して夕方歸りが遲い時には八時になつても九時になつても、如何程空腹を感じてゐても、母の歸宅する迄は「少しも空腹で無い」と云ひ張つて、どうしても夕食を爲なかつたことを覺えてゐる。又た父の死後母と共に寺へ說敎を聞きに行つて、說敎の中に地獄と極樂の說明を聽いた時、私は「母と共なれば地獄でも喜んで行き、母と共でなければ極樂へも行き度くないと思ひ、母と共なれば地獄も極樂であり、母と共でなければ極樂も地獄である」と思つたことを覺えてゐる。

□貴重な愛の供物

私は以上の如き自分の幼少の時の經驗から推理すると、此の青年の心には其の慈母を思ふ深い眞心があつて「母を喜ばし度い」「母に心配を懸け度く無い」「母に安心を與へ度い」といふ考へが其の心中にあつた都ての思想と希望と念願との大基礎となつてゐたと思はれる。母の心を少しにても慰め度い爲めに、最も規則正しく服藥し、食を取り、一より十まで醫師の命を嚴守したのであつたと思はれる。何と熾烈な愛情を母親に捧げたのであらうか。母に對する熱愛の爲めには、殆んど是非も利害も過去も未來も無かつたのである。外部より最も靜平に見えた此の青年の胸の奥には、火山の如くに燃えてゐた母に對する愛の焔は、自己及び之れに附隨する都てのものを燒盡してゐたのであつた。あゝ何と猛烈な愛であらうか。子を持つ親は世に幾千萬と限りなくある。しかもかくまでに熾烈純凈にして貴重なる愛のオフワリング(供物)を、其の子の手から受けた幸福な親は又た何處にあらうか。

□形見の寫眞

此くしてこの珍貴なる青年は二十三歲を一期として慈母の手から折り取られて、此の世を去つたのである。回顧すれば此の青年が、倫敦で突然父の不幸に遭過し、遙々兄と共に其の慈愛深き母に伴はれて歸朝し、東京に住むやうになつたのは明治卅四年の秋、乃ち其の歲僅かに七歲の時であつた。私が此の時初めて此の幼年者に會ふた時、其の水兵服を着けた可憐な風を見て直ちに私の六歲の時に死んだ父の事、又私を極愛して哭れた母の事を思ひ出して同情の涙を禁ずる事が出來なかつた、此の時以來、實に此の青年は何時も〳〵私の心を離れた事は一日も無かつた。今も猶私は如何しても此の青年が永遠に去つて了うたとは思へぬ。永き眠に入る半ケ月前に、發熱烈しく、苦悶甚だしかりし眞最中、兄一郎氏に請うて持たせられた筆を手にし、墨痕鮮やかに「贈呈服部他助殿松本二郎」と大書した高等學校の正服を着て撮影した寫眞は、日夜に笑を含んで私の方を凝視してゐる。(大正六年七月八日)

* *

安中花子

若き日の怒の輕さ紅入りの帶結ぶ間に消え果てにけり

けんくわした後の心のやるせなさぬれ手拭を目にあてゝみぬ

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自由な
婦人圖書館

‖三輪田高等女學校の一學期間のこゝろみ‖

▲三輪田高等女學校に圖書室が出來たと聞いたのは、この四月頃のことであつた。普通の女學校としては進んだ試みだと言はねばならない。でその設備や閲覽の狀況などをお伺ひに出る。圖書室は講堂の裏にある六間四方位ゐの廣大な室で、室の中央に長さ二間半ばかりのテーブルがあり、その上に圖書箱がのせてあつた。其處から各自に好みの本をとると室の周圍の窓際に並らべてある二十五六脚の机の前に坐つて讀むやうに仕組んである。私の行つたのは試驗中であつたにも係らず、休憩時間に此處へ生徒が集つて熱心に色々の本をよみ耽つてゐた。歷史物、

六

哲學書、小說類、家事書、新聞雜誌、その種類は各種類に亘つてゐる。借り出しなどは頗る簡單で、好きな本を持つて來て讀むのに過ぎないのであつた。唯放課後書籍管理の方が見廻つて目錄に合はせて整理なさるさうである。同校の教頭三輪田元道先生が校長に代つて仰有るには『世間ではまだ女には知らすな與へるな主義を取らうとしてゐます。之れは一個の人格者として立たうとする婦人を甚だ侮蔑した仕方だと思ひますので、私は廣く新聞雜誌は勿論私の所有に係る書籍を生徒の前に提供しやうとする譯であります。萬一そんなものに禍ひをうけるほどの人ならば、往來さへも危險で步み得ない筈でせう。兎も角も行く〳〵生徒の心に强い信念を養ひ、取捨選擇、批評を自由にし得る人にしたいと思つてゐます。』と。新刊物もつぎ〳〵に毎月五六十圓くらゐは買ひ備へると仰有つてゐた。

應接間の五分間

其の十一

毎夏靈的研究に入る

廣岡淺子女史

▲明治の女傑の一人なる廣岡淺子女史をお訪れする。女史は三井家の愛孃と生れ、大阪の廣岡家に嫁して家運の傾きかけたのを自ら狂人と呼ばれながら挽回なすつた方である。そして或る時は鑛山に臨んで親しく鑛夫の生活を觀察なすつたこともあり、その若き日は殆ど席の溫らなかつた方であるが、齡還曆に達しられると靈に覺醒し、それから宗教の研究を初められてゐる。この數年は毎年御殿場に避暑、其處で講師を招いて宗教を研究されてゐる。今年もこの九日から行かれた。

▲私がお訪れした時祈りと言ふことに話が移ると、『人間の生活は、本來は何時でも祈りの生活のやうに、緊張した氣分でゐなければならないと思ひます。何時、何處に於てゞも祈り得るやうな、其樣な生活でなければ、生き甲斐のないものだと思ひます』と、こんな事を仰有るのであつた。そして話が人の心理作用に移ると、『嫉妬は人を殺し、怒りは人を狂人にすると言ふことを化學的に證明してゐる學者があるさうです。その人の說によると、嫉妬に燃えてゐる女の息を瓶につめて水に溶解させるとうす黑く濁ると言ひます。その溶液を次第に煮つめると眞黑の液體に變るから、その液體を犬に注射すると犬が狂ひ死にをするさうです。また同じ方法で怒つた人の息をとると茶色の液となり、その溶液を犬に注射すると犬が狂ひになると傳へてゐます。』と此樣な挿話を加へなすつたりした。女史はかうして新しい有ゆる知識を取り入れる方である。レースで飾つた眞白い洋服を召した色の白い、小太りした方、髮は染めずにチラ〳〵と白髮の交つてゐたのが自然らしくて宜い感じがした。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（十三）

氷の世界

此處にある物の命は永遠

▲じみ〳〵と氣味惡く脂肪汗が肌にからむ蒸し暑い日、私は築地の帝國冷藏庫會社へ行つて見る。大きな建物の奧にはワイシャツ一枚になつた人達が、旋風器の横の方で仕事をしてゐる。冷藏庫用の氷を得意先きへ配達するらしい人達は、氷室から冷たい氷を運び出しながら、ダク〳〵と顔に汗を流してゐた。私は妙に矛盾を感じながら、製氷室から、冷藏室などを案内して貰ふ。

▲その時係の人はゐなかつたので他の方が說明して下すつた。すべて氷は何十馬力かの機械が蒸氣の力で動き、その動力の助けによつて更らに種々の機械が動き、そして漸く出來上るのである。製氷室は天井の高い廣い室で、その室には幾十となく幅二尺位ゐの小川のやうな流れが流れて居り、その小川のやうな流れが機械の力で上から下へと絶えず水が浮動しつゝ三十幾時間かゝつて氷となるさうな。凍る時には小川の兩岸から次第に凍つていく。そして凍る時に若し空氣が交らうものなら、其處だけ白く泡立つたやうになると言ふことであつた。そして氷が出來上つて、それを氷室に運ぶ時は非常に壯觀を呈するとか、私が行つた時は既に上げ終つた所で、次ぎの氷を製する爲めに水を引かれてゐた。

▲製氷室を出ると冷藏庫の方へ行く。冷藏庫と言へば、箱の中へ段を設けて肉や魚や果物などをのせ、氷で冷して置くもの、みのやうな氣がされてゐる。であるのに、此處の冷藏庫は眞暗な大きな室で、其處へ太い鐵管が導いてある。その鐵管のなかに氣體が通つてゐて、それでその室全體を冷却させるやうに仕組んであるのであつた。そして各室の溫度は同じではなく、夫れ〳〵貯へる品物によつて違つてゐた。此處には肉類、魚類、雞卵、毛布類、蠶卵紙、鰹節類、トマトの絞り汁など種々なものがあつたが、魚肉類が最も溫度を低くしてあり、トマトの絞り汁などが最も高かつた。最も溫度の低い室へ這入ると鐵管の周圍に白く雪が積り、歩む足がかぢかんで痛い位ゐである。其處には石のやうに堅くなつた肉などが皮のまゝで横つてゐた。案内の人は言ふ。

▲『よく魚河岸へ鮪などが澤山這つて、みんな市中へ賣り捌き切れないやうな日には此處へ入れて置いて不漁の日に出します此處へ入れて置けば幾十日經つても決して腐取もしなければ、味を損する憂もありません。で新年會などの時に幾百尾かの鯛を揃へやうとするには、ずつと前から同じ大さの鯛を此處へ入れて保管してあるのです。卵なども雞がよく產む季節にとつて置き、產まなくなつた頃に出します。でよく夏の季のものを冬出したり、冬のものを夏出したりするやうに貯へる人もあります。』などゝ言つてゐられた。また其處には直徑一尺二三寸の圓柱の氷の中に花を入れたり、金魚を入れたりした妙らしいものもあつた。夫れは花氷と云ふものである之れも。不思議な社會の一つであらう。（民子）

新刊紹介

□女教員の眞相及其本領（後藤靜香氏著）著者は香川縣女子師範學校教諭として令名あり、今秋は全國女教員大會も開かれんとして、漸く女教員問題が世上の注目を惹きつゝあるにも拘らず、其當面の女教員には何等の意見も用意もなきを遺憾とし、其覺醒を促されたる眞心の叫びであります。女教員の長所及短所如何、有夫女教員と獨身者との比較及其將來如何、將來に於ける女教員養成法の改善案如何等、必須の問題につき、廣く材料を女教員間に求め、熱誠を以て論ぜられてあります（定價一圓二十錢東京麹町區平河町五丁目 洛陽堂）

七

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同じ趣味に結ばる、理想の家庭

—新進洋畫家恩地氏と夫人のぶ子女史—

＊

今から五六年前、本郷の菊坂なる女子美術學校の刺繍科へ入學した一少女があつた。何處となく鄙びたさまはほの見えるけれど、活々した面差は相會ふ人を顧みさせずには置かないほど美しいものであつた。少女は初め刺繍科にあつて、日夜唯一本の針でさまざまの妙なる模樣を布の表に縫ひながら、進み行く技術に醉つてゐたが、一年たつた翌年は何を感じたのか、西洋畫科に轉じて、その獨創的な筆を紙面にふるふやうになつた。級の人達も此の一少女の腕がメキメキと日毎に上達し行くのを驚嘆しないものとてはなかつた。そして少女は卒業製作に人の眼をおびやかしつゝ昨年の花咲く春に卒業されると、その四月、式部官恩地轍氏の令息孝四郎氏と鴛鴦の契りを結ばるゝに至つた。少女の名はのぶ子、孝四郎氏は未來ある洋畫家として斯道の人に嘱目されてゐる方である

＊＊

のぶ子女史は甲府に生れ、山水明媚な街に生ひ立たれた。土地の女學校を卒業されると上京して女子美術學校へ入學されたのである。そして恩地氏の家庭に寄寓しつゝ通學されてゐるうち、趣味に結ばれて孝四郎氏との婚約が調つたのであつた。女史が西洋畫科に轉じられたのも一つには、その爲めである。孝四郎氏は天分豐かな、覇氣ある方である。この新夫人を迎へられると同時に府下大崎在の桐ヶ谷に新居を構へ、朝夕の自然を觀賞しつゝ互に鞭韃し合ひながら繪筆をとつてゐられる。六ケ敷いものと一般に思はれてゐる婚約時代を、清く、美はしく過されたお二人は、更らに麗はしい新家庭の人となつてゐられる。

『何うしてあゝ仲が宜いのだらう。』と、さう見る人毎に思はせると言ふことである。仲が宜いとは、互に唯慣れ合つて親しいと言ふ謂ではない、互の意志と感情とがピタリとむき合つて美しい火花の尖火を散らしてゐることである。趣味の一致してゐるお二人は、何事にも、隙間のあることに堪へず、僅かな食事のことをも氣にされてゐる。もと女史は辛いものゝ料理を好まれてゐるのに、氏は何うしても夫れに箸をつけることが出來なかつた。すると氏は、

『家庭をもつてから食物の趣味の合はないくらゐ苦しいことはない、』と言つて、少しづゝ、少しづゝ辛いものを食べるお稽古をなすつたとか、我儘一點張りのものと思はれる男として、家庭を美しいものに塗り上げやうと努力されるその一事は聞いただけも美しい心が湧く。

＊＊＊

斯うして互により添ふやうに育み上げられる家庭にある二人は、その藝術上にも、互に同情と理解とを忘られない。氏が未だ一度も自身の畫を公衆の席に出さないので、女史は、

『大抵の場合、夫婦の二人が同じ道にあると、數の上に少ない女の方が先きに社會へ出るのが便利だと言つて、女の方を先きに出し易いけれど、私は孝ちやん（女史は氏のことを孝ちやんと呼んでゐられる。）の畫が公衆の前に出た後でなければ自分のは決して出さない。』と言つて未だ何處へもお出しなすつた事がないと言ふ。其處には良人を思ふ眞心が溢れて見える。世には一所になつたから今更分れるのも世間體が惡いから、と言つて同じ家に起き臥しを共にしてゐる、そんな夫婦が多いのに、女史達のそれは全く冬枯れの野の中に咲いた花のやうな美しい理想的の家庭である。（I子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の先生の印象（六）

稀れに見る　生々した授業

——本郷小學校の一年級にて——

▲この週は本郷小學校へいく。風の強い、うすら曇つた日であつた。此處では一年生の讀み方を見る。時間が短縮されて、三十分づゝの授業であつた。教室では既う先生が教壇へお立ちなすつて、挿畫を指しながら、頻りにお話をなすつてゐた。その挿畫は、墨を流したやうに暗く曇つた大空に、雷光が曲總を描いてすさまじい態にきらめいてゐる所である。六十人ばかりの小さな生徒は、ものにおそはれたやうに、また、先生のお言葉の一つ〳〵が曾つて自分の見たものに符合するのを樂しむやうな、其樣な複雜した感情を包んだ顔を上げて、熱心に聞き入つてゐた。先生は言葉をつゞけて仰有る——

『さうですね。空が曇つて、電光が光ると、やがて雷が鳴り出します。みなさんは雷がお好きですか、お嫌ひですか。』

小さな可愛い生徒達は、驚いたやうな眼を光らせて、

『大嫌ひです。恐ろしいから大嫌ひです。』と、各自に八ヶ釜しく言ふ。先生はそれを取り鎮めるやうに、

『先生も雷は大嫌ひです。今日はその雷の所を讀みませう。本を出して……。』と仰有るのであつた。生徒は机の蓋をカタ〳〵と音をさせて本を出し、そして開くのであつた。開く前に生徒は丁寧に本を頂く。その本の中にある畫は先生の挿畫と少し違つてゐた。すると先生が、

『みなさんの畫と先生の方の畫とは少し違ひますね。けれども矢張り電光です。』と、此樣なことを仰有つたりする。いよ〳〵本を讀む段取りになると、黒板に此樣な文字を書いて生徒に讀せられる。『ナッテ。』『モッテ。』

▲生徒は初めに、ナ、ッ、テ、モ、ッ、テ。と讀んだが、夫れをつめて讀むと、と先生に言はれると、ナッテ。モッテ。と讀むのであつた。すると先生が新らしく、『クモッテ』。とお書きなすつて讀める人は、と仰有る。と、一人の生徒が、

『ク、モ、ッ、テ。』と、斯う讀んだ。先生が、夫れを前のやうにつめて讀むと、と仰有ると、クモッテ。と讀んだ。新らしい讀み方の文字らしい。

▲此樣な文字の讀み方が終ると本の中の文章を讀み始める。ソラガクモッテキマシタ。カミナリガナリダシマシタ。イマニユフダチガキマス。と、之れだけである。先生は讀み方の練習をしながら、

『空が曇つて來ました、と言ふと、今迄は何樣なお天氣だつたでせう。』とか、

『雷が鳴り出しました、と言ふと、今迄も雷が鳴つてゐたでせうか、それとも鳴つてゐなかつたでせうか。』とか、

『今に夕立が來ます、と言ふと前から夕立が降つてゐたでせうか。』

と質問して、生徒の頭に過去、現在、未來の觀念を明確に印象させやうとなさる。そして生徒が正しい答へをすると、

『さうです。』と、ぐいと強く柔かく、すべてのものを和やかに包むやうに仰有つて、退屈しないやうに生徒の興味をお集めになる。

敎へること夫れ自身が面白くてたまらない人のやうな、稀に見る生々した先生であつた。

（K子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

征服か救濟か

淑德の眞意

薄田斬雲

□天下を取るとは何ぞ

日本人は島國の狹い土地に育つた爲かして、如何にも氣宇の狹い人種です。「人を見たら泥棒と思へ」といふのが、日本の社會的敎訓です。斯うなると自分と他人との關係は、親友ではなくして仇敵です。他人をば凡て征服せよといふ事になります、そこで日本には昔から一番豪い事は「天下を取る事」といふモットーがあります。天下を取るとは甚だ我慾の沙汰で、切取り强盜の山賊行爲です。二十世紀の紳士にはふはさしからぬ事です天下は自分一人の天下ではないので、萬人と共に樂しく生を享くる事が人間の根本希望なのです。前號本誌に六月三十日の政府彈劾議場の見聞記が載つて居ます。そして「I子」さんが、其の狂犬的いがみあいの光景に魂消げた樣子ですが、あの議會は最も赤裸々に「天下を取る」主義を曝露して居るのです。彼等の眼中には政權の强奪以外何物もありません。天下は救濟すべきもので決して取るべきものでないのです。唯だ天下を取る者は國家の精神の外に立脚するから普通の强盜を束縛する法律で制裁する事が出來ないといふだけです。

□我が子を見る如く

日本の政治家は、どうでも天下を取る事ばかり考へるのです天下を救濟する考へは毛頭ありません、「醉ふては枕す、醒めては握る」といふ豪傑政治、大江山の酒呑童子式つまりは山賊主義といふものになります。こんな事では當節判任官以上に屬する士農工商の細民は誠に悲慘な生活に陷ります。人間は他人に對しても常に慈母の我が子を見るが如き憐みをかけなくては此の世は保つて行かれないのです「汝の隣人を愛せよ」といふ基督の敎徒とならなくとも、人は凡て他人に對して、我が子を見る如き廣い大きい慈悲心を有ちたいものです。之は他を救濟すると共に自らも救はれる唯一の道です。他を征服しやうと志すと、却つて他に征服されて、終世安らかな心になれません。此の點は殊に婦人に必要があるのです。

□他を救濟するの赤誠

婦人は男子以上に嫉妬心が强いと言ひます。夫れだけ常に其の衣服を以て、髮飾りを以て、指輪を以て他の女を征服したいとばかり考へます。然うなると自分以上の美貌と地位と金とある婦人に對しては、陽に媚を呈して陰に憎しみの念を持つ事になり、又自分以下の婦人に對しては、之を侮弄して自ら豪なりと誇り、爲めに其身衆怨の府となり、遂に社交界から爪彈きされます。婦人は他から尊敬されて幸福な生活をしやうと思ふなら、他を征服しやうと考へずに他に對して率先し、自ら犧牲となつて他を救濟する赤誠を要します。婦人の見えとか、高慢とかいふのは、他を征服したい考へから來るのです。他を救濟しやうと心掛くる時、其身は何時となく溫情ある世間の感謝に包まれて、ダイヤモンド以上の光りが其身に自然と備はるでせう淑德といふ事は無能者のだんまりではなくして、眞に自覺ある婦人の廣い救濟心から發する靈光です。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

汗をかく人

どうして防ぐか

松下皮膚科醫院長 松下克治

□汗かきと多汗症

私は汗かきで困りますとはこれから暑熱が加はるに連れて必らず耳にする處で、又實際人並以上に發汗の多い人は、額や鼻の頭に汗滴玉をなし、殊に婦人などで背中から窩下にかけて衣服を通して汗の滲み出るのを見ると氣の毒な感がする。一定の飲料、或は辛子の如き辛味をとつた後とか、又は日盛りを歩いて來た時、働いた結果として發汗するのであるならば、生理的現象であつて、當然の事である強ち汗かきだと云つて心配する事もない譯である。然し醫者の側から云ふ處の多汗症は眞の意味の多汗であつて、普通夏季に起る發汗の旺盛なものではない。これは必らず他に之を惹起すべき原症を持つて居なければならない。例へば腦神經衰弱であるとか、肺結核、或る種の神經痛、神經中樞の疾病等に續いて起つたり、合併して來る症狀であるから、從つて手當ての方法も複雜になつて來る。

□血液循環の異狀

然し所謂汗かきの汗と云ふものは、温度の調節を司る爲めに分泌して居るものであつて、樞要の機關である。これは口唇其の他一二の場所を除く他は總ての皮膚の表面にこの作用が行はれて居るが、最も多く分泌するのは、手の掌、足の裏、窩下等である。中には健康の人でも著しく分泌して、脂手脂足と云ふ部分に入る人もある。けれども其の多くは本來の原症、即ち血液の循環が異狀である處から起るので、かういふ人の發汗の局所は蒼白く且つ冷たい。俗に冷え性と云ふのはこの種類のものに多いのである。

□肥えた人

其の他婦人は帶の關係で下腹腰部又皮膚の接觸する關係で、乳房の下に著しく發汗する。又肥えた人は瘠せた人より發汗が多いので夏は堪へ難い。これは皮下の脂肪層が厚い爲めに、内部から温熱を表へ充分に導く事が出來ないので、これを補ふ爲めに發汗が多い。且つ又傳道放散が充分でないから温熱が蓄積して居るので餘分に熱さを感ずるのである。

□汗の出る人の手當法

前に述べた通り發汗は或る程度迄生理的で療法を講ずる必要はない様であるが、然し衣服や皮膚の接觸摩擦に依つて炎症を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

起る事は稀れではない、殊に肥滿して居る人などは歩行に苦しむ程痛む事がある。斯云ふ時、素人にも出來る範圍の手當は、入浴後は勿論、一日に數回位ゐ澱粉又は亞鉛化澱粉を散布して置くといゝ、又普通の流汗の場合に一時これを止めるには、湯の中に適宜に酢を落してこれで身體を拭ふか、薄い明礬水で拭ふのもいゝ、或はアトロピンを注射すると即効はあるが、勿論根治の方法ではない。それよりも肥滿家は出來る丈け激勞をさけ、酒精性の飲料を謹み、淡泊した食物をとつて發汗を防ぐ方が更に有効である。又入浴も身體について居る上皮、脂肪、塵埃を除く爲めには、微温湯よりは少しく熱い位の湯の方が宜しからうと思ふ。

□脂手脂足を防ぐ法

脂手の人は薄い手袋を用ふるもいゝが、二十プロセントの酒精フオルムアルデヒード溶液で四五日目に一回洗ふか、五プロセントのクローム酸溶液を八日目に一回付けるか、或はタンニン一、五レドルチン一、酒精五〇、を混ぜたものゝ中で一日一回洗ふのがいゝ。脂足の方はよく世間でやつて居るやうに、足袋の底に絲瓜を敷くのも結構であるが、朝夕石鹼で洗つて、二プロセントの、サリチール酸酒精をつける。又はクローム酸三瓦、酒精五〇、蒸溜水五〇瓦の溶液を八日乃至十四日の間を置いて一度づゝつけるか、面倒ではあるが、ホルマリン液浴を行ふのがいゝ。其の方法は十五瓦のホルマリンを五合五勺(一リツトル)の水に投じ、これに足を約十分間程浸し一週に一二度試みれば充分である。

以上の如く其の各部分に就て色々の藥があるが、病的のものはとても藥品の力で根治する事は六ケ敷く、理學的の治療を加へても尚ほ全治癒は困難であるであるから要するに之等は一時を凌ぐ手段に過ぎないのである

婦人の發明品

▲最近四年間の特許局の統計によると、一萬四千八百の實用新案中、婦人の名に依るものが百六十ばかりある。内七十種は臺所用具、五十は裝身具、其の他はいろ／＼であるが、主に家庭向きの事に力を用ひて改良を企てると云ふ事は誠に喜ばしい傾向である。▲然し古くから婦人の發明家も隨分澤山あつた。そして可成の成功をして居る。其の中今日迄名を知られて居るのは久留米絣の發明家の井上でん、それから以後には紺絣を考へた越後の渡邊はる、今日どこの家庭でも使つて居る●●●●●●龜の子だわしも亦名もない一老婦人の工夫になつたもので、僅かあれだけのもので四五十萬圓の財産を作つたと云ふ事である。▲けれども婦人の發見發明の中で最近世界を驚かしたものはラヂームの發見に越すものはないであらう。これは巴里大學の教授のキユーリー夫人が曾て博士論文を提出する爲めに放射線の研究中思ひがけなく此の大發見をしたものであつて、長さ一里の溝の泥中にラヂユーム化合物は僅か一厘の長さしかない、これを分解して純粹のラヂユームにすれば、實に一匁の價は一百萬圓で世界のラヂユームを集めた處で二三十匁に充たないさうではあるが、この空前の一大發見が婦人の手に依つてなつたと云ふ事は實に愉快の事である(女子大學家具研究會に於て特許局員三田氏の談)

十二

化粧問答

問 だん／＼暑くなつて來ますと、外へ出た時汗や埃の爲めに、化粧くづれがして、困ります。白粉も薄目につけたのは、剝げた時そんなでもありませんが、濃化粧の崩れた程、みつともないものは御座いません。夏は薄化粧に限ると存じますが、記者様の御意見は如何でせうか。

(大阪府下 一愛讀婦人)

答 全くお說の通りです。夏は概して薄化粧の方が、見た目にも涼しさうで、至極結構です。尤も化粧崩れのしないやうにするには、初めから地肌を調へておけば宜敷いのです。それには先づ夜寢る時に、クラブ美身クリームを顏から頸筋に擦込むで、そつとタオルで拭き取つておき、翌朝すつかりとクラブ洗粉で洗落し、クラブ化粧水をすつかりと塗り込んで、生地を調へるのです。それからクラブ白粉でもクラブ美の素白粉でも、斑なく附けて延ばし、水刷毛で其の上を洗ひ去り、そしてお顏色

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

茄子の

和洋調理法

手塚かね子

□**茄子の亀甲揚げ**　餘り大きくない茄子の蔕を除り、縦に二つ切りにして水でよく洗ひます。次に皮の方へ庖刀で縦横に筋を入れるのですが、縦横では油が餘り滲み過ぎますから、横だけへ斜目に筋をつけ、布巾の上で充分水分を除つて了ひます。これを胡麻油の沸立つた中に入れて揚げます。すつかり揚りますと茄子は一寸藤紫の美しい色になりますから、一寸金串をさして見て、柔くなつた處で金網の上か紙の上に出します。皿に盛る時には甘味噌を身の方へ付け、味噌の方を上向にして二つ或は三つ盛ります。好みに依つては生姜を細かく刻んで付けるのもよろしうございます。

甘味噌の作り方は、普通の味噌を擂鉢でよく擂つて裏漉にかけ、砂糖又は味淋のにきりを混ぜて鹽梅し、そのまゝ用ひてもさしつかへありませんが、時間がある時ならば矢張り一寸火に懸けて練つてから用ひます。

□**茄子の肉入れ**　前と同じく水洗ひして蔕を除り縦に二つ切にします。そして皮に付いた身を一分五厘位の厚さだけ殘して、其の他は庖刀で剝除りその身を細かく叩いて置きます。次に白身の魚をよく叩いて前の茄子の身と混ぜ、鹽と胡椒で味を付けて先きの茄子に詰めます。縁に肉が付かないやうに少々盛り上り加減に上手に詰めましたらば、鷄卵の掻き混ぜたのを全體に付け、パン粉をまぶして揚げます。これは生姜醤油かウスターソース（壜詰で十七八錢位ゐのものです）を付けて頂くと非常に結構のものです。

□**茄子の味淋煮**　成る可く小さいのを擇んで、矢張り蔕をとり茶筅茄子のやうに筋目を入れます。もし大きい時には二つ切にして四五本縱に筋を入れ、灰氣を拔いて鍋に入れ、材料が侵る位ゐの水と、味淋を少し（茄子七箇に就て三勺位ゐの割）入れ、蓋をして極文火で氣長に煮ます。炭火の方が具合よく煮えますが、瓦斯でも火を小さくして置けば宜しうございます。沸立つた處へ、薄く奇麗にかいた鰹節を入れて更に煮込みます。丁寧にすれば出汁を入れるのですが鰹節が奇麗に茄子に付いて居るのも見た所が宜いものです。茄子がふつくりと柔かく煮えましたらば醤油を淡泊り入れます。砂糖を少しも使ひませんが、味淋の爲めに上品の甘味があつて、付け合せものなどには至極適當です。味淋の代りに酒を用ひました時には、下し際に一寸砂糖を入れるか、又は先に砂糖を入れて置いて最後に醤油で加減を致します。

□**纎切り茄子と素麵の清汁**　お清汁は普通に作り素麵は茹でゝ置きます。茄子は皮をむいて一分五厘位ゐの纎に切り、暫らく水に浸け、清汁の中で煮てから醤油の鹽梅をし、碗に盛つた素麵にかけて出します。此の中に鳥のつくね――鳥を叩いて小さく丸め、出汁の中で煮たもの――を入れるのもよし、或は紫蘇の葉を鹽水で洗ひ、小口から卷いて出來る丈け細かく切り、渦卷のやうな型を崩さないやうに素麵の上に放つのも宜しうございます。

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季緑草をもて覆れたる天與の酪農地伊豆の大島に産せる純眞、風味卓逸、心地よき黄金色の最上バタを試みられよ

定價　半斤　金五十五錢　壹斤　金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

の好くない方ならば、クラブ頰紅をうつすりと刷て、又脂肪質の方ならば、鼻の上や口の側へ、クラブはき白粉をうつすりと刷いておきますと、滅多に剝げるやうな事は有りません。假令剝げるにしても決して斑にはなりません。汗の出た時には、クラブ打粉白粉をはたくと、手早くお化粧直しが出來るのです。

問　これからだん〳〵と、流行病が多くなつて參ります、豫防に關する第一の注意は何で御座いませうか、記者樣の御説を伺ひたいと存じます。（兵庫縣　たつ子）

答　病菌は多く口から入るものです、夏の衞生は口を以て第一としなければなりません　殺菌の効力の著しいクラブ齒磨を、朝夕二回は必ず使用せられ、其上に食後にはクラブ水齒磨でよく含嗽をして、常に口中の清潔を保たるゝことが必要です。―廣告―

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（八）

父さんの手紙

琴子

デビッドが、出て行くと、間もなく、「何か、少しは解つたかい？」と言ひながら、百姓のヒギンスが、入つて來ました。「何が解るものかい。だん／＼解らなくなるばかりさ」。

ハアレーは食事をすませて庭の方へ出て來ました。「よつぽどお可笑な子だよ。氣が變だよ。ヴアイオリンを彈かないと思や、氷の着物だ、山だ、木だつて、譯の解らない事言つてるだよ」。「だが、あたりまへの『宿無し』たあ違ふよ。己れは、昨夜、二人を荷馬車に乘せてやつたんだ。粗末な、風はしてるが、ちやんとした着物を着て居るし上品だよ。『宿無し』や『物貰』とは違ふさ」「さうかなあ？」「さうさ。そりやさうと、あの子はどうした。」「今、そこに居たが！」二人は方々探しましたが、そこらにデビッドの姿は見えませんでした。

「何處へ行つたんかなあ。爺さんの手紙があるんだが。」「へー、何處にあつたんかい？」爺さんのポッケットだよ。『デビッドに』と書いてあるから、開けるわけに行かないが、あの子によませたら、様子が解るだらうと思ふんだ」。

ヒギンスが、かう言つて居る時に、ハアレーの御神さんが、あわてゝ出て來ました。「ヒギンスさん。お前さんの家に電話がかゝつたさうだよ。そして、あの子は、村端れのモリーさんの家に居るさうだよ」「さうか。そりや、すぐ歸すやうに言つてくれ。」「モリーさんが、さう言んださうですけんど、『いやだ、山の家へ行んだ』と言つてるさうですよ。可愛さうに！」お神さんは目をふいて居ました。「なあに、爺さんの手紙があると言へば、きつと、來るよ。」「さうね」と言ひながら、お神さんは出て行きました。

デビッドは父さんの手紙と聞いて、村端れの家で食べさせて貰つて居た、パンも牛乳も、そのまゝ、飛んで歸つて來ました。あんまり、デビッドの來るのが早いので、百姓達は、あつけにとられて居ました。すこしして、ヒギンスが「あゝ、あるよ、これだ。」デビッドは、ヴアイオリンの箱を靜かに、下に置いて、讀み出しました。

百姓達はぢつと、デビッドの顏を見て居ました。初め、デビッドの目には、涙が、にじんで來ましたが、其内にだんだん、嬉しさうな顏に變つて行きました。「父さんが遠い處から、これを、よこしたの、をぢさん」。「イ・ヤ、お前の爺さんの、かくしには入つてたんだよ。」「さうか。何でもいゝや。僕のする事が書いてあるから」「エ？何だい、する事つての己達にも、見せてくれないか。讀んでもいゝかい？」。「エ、いゝとも、をぢさん」。

そして手紙をヒギンスに渡しました。その手紙には、

「デビッドや、己れは、遠い處で待つて居る。もう歸つて來ない。がお前の來るのを待つて居る。其時には美しい世界の話を澤山持つて來てくれ。お前の居る世界はいゝ處だ、それを忘れるな。時々、いやな處だと思ふ時があつても、自分の心で、いゝ處にする事が、出來るんだ。知らない人ばかりの中で、山の家が戀しくなる事があらうが、歸りたいと、思つてはいけない。そんな時にはヴアイオリンをお彈き。山の家も、森も、川もお前のヴアイオリンでよく解るぢやないか。父さんから」。と書いてありました。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

雜草

茅野雅子

九

家へ歸つてからもお久はその光景を忘れることが出來なかつた。巡査の差つけた提灯の光に照されたその水死人は、二十の上を未だ幾らも出ては居まいと思はれた。澤山の水を呑むだためか、少し膨脹れて見へる靑蒼な横顔には、亂れた髮が膠で付けたやうにひッついて居た。藁屑や何かが痛ましくからむで居る丸髷はそれでも全く崩れてはゐなかつた。醫者らしい人が車で驅つけて來て檢死を始めた時お久は最う其處に立つてゐることが出來なくなつて、尙ほ好奇心に引かされて見てゐやうとする姑を促がして家の方へ急いだ。誤つて水へ陷つた不幸の人か、それともまた我と我が生命を捨てなくてはならぬ悲しい運命の人であつたのか。死ななくてはならぬ運命を持つてゐたとすれば何んな運命であつたのだらう。失戀か、貧困か、家庭の不和か、それともそんな簡單な言葉では言現すことの出來ぬ複雜な事情であらうか。お久は其晩も歸宅りさうにもない健次を待つともなく机に凭れたまゝ長い間もの思ひに沈んでゐた。

お久の前には死といふ考が自然と浮んで來た。何時人を摑むともわからないあの眞黑な手が寧ろ懷かしいやうにも思はれた。卒然と現はれて來て、一切の物を悉く虛無の世界へ投げ込むで了ふ死の前には、爭鬪も苦痛も煩悶も無くなつて了つて、唯々永久の安靜がある許りにも思はれた。その安靜がお久の心をつよく引きつけた。自分の生活が他人の上に及ぼす影響にばかり心を煩はして、味氣ない毎日の生活を貪るより他に仕方のないやうな無力の自分に取つては、死がただ一つの路であるやうにも考へられて來た。子供、夫、藝術といふやうなものは、知らぬ間にお久の考から遠ざかつて了つて、美しい音樂に聞入るやうに、一途に死の甘さを夢みてゐた。死、死、さうだ自殺。

彼女の眼の前には蠟のやうに蒼ざめて打斃れた自分の姿がまざまざと見えて來た。しとどに濡れた黑髮が、膠で著けたやうに兩の頰へへばりついてゐた。突然警察醫らしい二本の腕がぬつと出て、彼女の襟元をくつろげやうとする。赤い筋の提灯がぱつとそれを照らす。

お久は慄然と震へ上つた。大きな手が背後から來て彼女の頭を力一杯に打据えたやうに、お久ははたと机の上へ俯伏して了つた。眼が眩むだのである。暫らくして淚が流のやうに流れて來た。拭つても拭つても拭ひきれなかつた。あらゆる人世の懷しい物がお久の心に歸つて來たのである。藝術も、健次も、神のやうに母を賴つてゐる子供達も。――それから、年老いた姑の姿さへなつかしい色に包まれて彼女の心に浮んで來た。淚は容易に止まりはしなかつた。

十

そんなことのあつてからお久の心は又た漸々明るくなつてゆくやうに思はれた。お久は力めて自分の心を引立てやうとした。家にゐることの少なくなつた健次の書齋は再びお久のための書室になつた。七人會のために書かうと思つた下繪などが新たに取出された。仕事の方の興味も日に日に回復して來るやうになつた。風雨と激浪とを通過ぎて、漸やく穩やかな海に月明を望むやうな落ついた心持になつて來た。雜草に蔽はれて居た

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

野の泉が秋になつて現はれて來たと喩てもよい。お久は健次に自分の心持の推移を話して斯んなことを云つた。

『私だつてね、お母さんを愛する心がないことはないし、その愛だつて可なり深い所まで行けないことはないだらうと思ふんですよ。死といふことを考へると、私達は、自分自身は兎に角、周圍のものを可なり深く愛してゐるとが解りますものね。』

『それはさうだけれど、何と云つても自分を愛するといふことが中心になるんだから、自分と距離のある人を眞實に愛し得るといふやうな境地には容易に至れないよ。ただまあそれに一歩でも近づきたいと努力する丈でもいいとして置のだね。』

さう云ふ健次の顏にも今迄にない晴やかな滿足らしい所が見えた。お久は奧深い眼つきをして、

『今だから云ひますけれどね、私達二人の愛にだつて考へて見れば隨分波瀾があつたんですものね。それは結婚してから後にだつて、淺間しい喧嘩などこそ一度もしなかつたけれど、心の中では幾度苦しみもがいたか知れないではありませんか。』

『え？それは本當なのかい。』

健次は態とらしく眼を見張つて

『では明日にでもまたさう云ふ嵐が來ないとも限らない譯だね。』

お久はそんな冗談には釣込まれなかつた。

『だから、お母さんに對する私の愛だつて、左樣始めから大きなものである筈はありませんわね。私は其處に考へが行かなかつたんですよ。』

『大ぶ哲學者になつたね。』健次は聲高く笑つた。お久は心の底から溢れるやうな夫の笑聲を長い間きかなかつたことを思出した。（完）

口前號第十六頁二段一行目「あつた」の次に左の三行入

「お久は珍らしくお民と一所に買物に出た歸途を三條から川端に沿つて上の方へ歩いて來た。」

十六

見合失敗物語（其二）

兄弟の相違

近藤浩一路

友人M君嘗て東京の醫科大學を卒業すると間もなく兩親の命を受けた兄貴の肝入りで嫁の候補者を探し出しあれならばといふので、いよ／＼雙方見合といふ處まで漕ぎつけた。處が氣早の兄貴は此見合を利用して、Mと候補者とを一枚の寫眞に撮つて、其れを兩親の許へ送り、一刻も早く安心をさせ、自分の手柄と誇らんものと妙にあわて、乍ら、先づ寫眞屋に電話をかけて、明日三人の男と、一人の女とが寫眞を撮る都合になつてゐるが、一同撮影する振りで、其中の背丈の高い、頭の禿げた男（といふのは、云はずと知れたM君の事、實際M君は、年の若いのに似ず氣毒のやうに禿げてゐる。）とその女とを一緒に坐らして、其處を首尾よくとつて、貰ひたい、」と豫め斷り付きの通達をしておいた。處が其翌日御約束通り寫眞屋がやつて來て早速昨日電話での仰せ通り其禿げた男に向つてどうぞあなたはこちらへと無理やりに一人の女と並べて、坐らしてパチンとやつて終つた、出來上りを見ると、當のM君ではなくて兄貴自身が自分の掛けた罠に自身陷つたのであつた、實際M君の兄貴は自分がM以上に美しく禿げてゐるのは氣つかなかつたらしい。結局この縁は破談になつて終つたが、それからM君はどうした事か獨身でゐるさうだ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口常盤會へ御下賜　本野外相夫人、松方巖氏夫人等が評議員で組織されて居ます學習院女學部卒業生の常盤會にては、今般青山に新築の學習院女學部内へ事務所を建築する趣　皇后陛下の聞し召さる處となり、特別の思召を以て七日金二千圓御下賜の有難い御沙汰がありました。

口賀陽宮妃御内定　目下陸軍中央幼年學校本科一年御在學中の賀陽宮恒憲王殿下には、今般掌典長公爵九條道實氏第五女敏子姫と、御結婚の御内約が成れりと承ります。　殿下は故神宮祭主大勳位賀陽宮邦憲王殿下の第一子にして本年十八歳に渡らせられ、敏子姫は本年十五歳で目下學習院女學部　中等科二年に御通學中の事とて、御成婚は四五年の後なるべしと洩れ承ります。

◎復辟遂に破ぶる　張勳氏が宣統帝を擁して復辟を斷行したるより黎總統は主權を奉還し、身を以つて我が大使館に脱れ、過去五年間大總統の公府として、政令の中心であつた、北京の民國政府はこゝに殆ど滅亡の姿となりました。けれどもこの喜びは張勳氏にとつては實に一瞬時のものでありました。諸方に反對軍は蜂起し、續いで廣東の獨立となり、益々形勢は非を示すに至りました。時未だ至らざるを見て取つた、共和維持黨の浙江長江の各省は、馮副總統を擁して盟主とし、再び民國政府の旗印を擧げて張勳に對しました。自力の及ばざるを知つた張勳は、日英米の三國大使を歴訪して、列國の干渉を哀願せるも各國とも之に應ずるものなく、止むを得ず、七日朝王士珍に後事を託して政權を棄て、軍隊は悉く武裝を解除して英國大使の保護を受けて居ります。同日馮氏は就任式を擧げ、新内閣を組織しました。張勳の復辟も僅に八日間にして倒れ、清帝の退位近きにあらんと豫想されます。

◎露國の婦人決死隊成る　露國は婦人に動員令を發し、第一婦人決死團を組織して、露暦六月十八日これが閲兵の式を擧行しました。此の婦人兵士團は數日間に亘り全く兵士同樣の軍隊教育を授けられ、教官の號令の下に勇ましく鮮かなる操練振りを示し、毫も男子に讓る處がないと申します。

◎アレキセーフ提督逝く　曾て露國の極東太守として、鬱勃たる政治的野心を驅り、大連の經營を始め果ては武力を朝鮮に延ばして、日露戰爭をして避くべからざるに至らしめたアレキセーフ大將は七十四の高齡を以つてクリミヤ半島の海港ヤルタに病死されました。氏は一生を通じて獨身であり、前半生の華やかさに比して其の末路は實に氣の毒のものがありました。

◎名優ツリー逝く　英國の名優サー、ハーバート、ツリーは心臟痲痺で逝去しました。氏は千八百五十三年十二月の出生で、廿五歳の時初めて素人劇に加はつたのが、俳優生活の初まりであつたと申します。同年倫敦のグローブ座へ出演以來名をなし、ヘンリー、アービングの死後は第一流の役者として尊敬されて居りました。氏は比較的英國で行はれない沙翁物を演じて成功した人で、サーの稱號を受けた稀有の天才です。

◎中川氏と名優教授　前中川東京女子高等師範學校長に對し、六日左の辭令がありました。

從三位勳三等　中川謙二郎

東京女子高等師範學校名譽教授の稱號を授く

◎特待生と成た丹下女史　先年黒田牧田兩女史と共に東北帝國大學理科大學に入學した丹下うめ子女史は、其の後病氣の故を以て二ヶ年間休學されましたが、今回は成績拔群の故を以て特待生に選拔されました。來年卒業の上は、母校女子大學に招聘さるゝであらうとの事です。

◎榮譽を擔つた二女學生　東京府の育英資金は從來、男子のみが受けて居りましたが、今回初めて二人の女學生が其の資金を受くる榮譽を擔ひました。一人は元葛飾郡の郡書記をして居つた清水勝太郎氏の長女清水りう(二二)及び麻布の大工職石橋久太郎氏四女石橋きく(二二)で、共に東京府女子師範を卒業し、女高師の入學試驗に首尾能く合格して、清水は家事科に、石橋は文科に入學しました。

◎濱尾會長に公然の御囑託　愛國婦人會總裁宮妃智惠子殿下には、六月二十九日附を以つて、男爵夫人濱尾作子以下十名の理事に對しそれ〴〵公然の囑託を遊ばされました。

◎小此木女史の昇叙　東京女子高等師範學校教授小此木まつ子女史は、近く辻高衡氏と結婚さるゝ筈でありますが、此の程同女史に對し　高等官四等に叙する旨の辭令が下りました。

◎逝ける人々

▲花房子爵薨去　樞密顧問官從二位勳一等子爵花房義質翁は、九日薨去、享年七十六。氏は佐久間象山に學び、慶應二年四人の友人と共に米國ボストン市に留學しました。氏の日清日露兩役の功及び、赤十字社長としての功績は沒すべからざるものがあります。畏き邊にては翁の危篤を聞召され　特旨を以つて正二位に叙せられました。

▲塚原澁柿園翁　歴史小説の大家澁柿園塚原靖氏は五日夜腦溢血にて永眠されました。曾て東京日々新聞に連載された「條約改正」と云ふ政治小説を出世作として、文壇の一角に其の名を成すに至りました。氏の傑作には「由井正雪」「北條早雲」「家康公」「淀殿」等見るべきものが澤山にあります。享年七十歳。

◎南洋の珍客來る　南洋占領地の第三回土人觀光團六十九名は、四日朝開南丸にて來朝正午入京して麹町平河町の繁星館に投宿しました。一行中には男女小學生が十名ばかり加つて居て通譯の任に當つて居ります。中にもアルホル、バイ(十五)は日本語の名前を金太郎と稱して非常に日本語をよくし、只一人市松の單衣に袴をつけて參りました。前二回の觀光團が、日本に對して好意をもつて歸つたので、一般の土人は非常に日本に親しみを持ち、先年來朝したパラオ島のアイバドル酋長の如きは、土人間に日本の文化を普ねからしめんと努めた爲め、裸體生活に馴れた彼等も大分衣服を着るやうになり、現に今回の一行は詰襟の洋服に帽子を冠つて參りました。一行は十八日迄滯京、大阪京都を觀光の上廿七日頃横濱出帆歸南の筈です。

◎四度目の花の日會　今秋擧行の奠都五十年記念を期して、第四回目の花の日會を開く事に決しました。尚ほ當日は純白と薄空色の野菊の造花二種を三十萬個造り、例の通り街頭に立つて之を鬻ぐのですが、現今は原料が四割方騰貴して居りますので、或は一個三錢に値上げするかも知れないさうです。

◎篤志看護婦人會納會　日本赤十字社篤志看護婦人會は、六日の例會を以て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏季前に於ける納會となし、澁谷の本社に於て鍋島侯夫人、小笠原伯夫人、井上知事夫人等正副會長を首め多數の貴婦人が集りて繃帶卷をされました。

◉大學病院の看護婦復歸　東京醫科大學に看護婦の同盟罷業があつた事は既報の通りですが、其後三浦内科の鹽谷教授、青山内科の坂口講師が個人の資格で仲裁の勞をとり、杉本外五名の主謀者を除いて、一同連署の詫狀を事務所に差し出し無事に解決しました。主謀者六名は將來の禍根を恐れて絶對に復職を許さない由です。

◉聾啞學校の手工展覧會　小石川の同校でに、暑中休暇も近づいて來た事とて、今學期の成績を發表する爲めに、生徒の手になつた着物、袴、坐布團其の他の手工品展覧會を七日正午から開催致しました。

編輯室より

▲茅野雅子女史の「雜草」は好評の内にこの號を以て完結いたしました。次號からは嘗て「暗調」の作で、其眞摯な筆と深遠の想さを現はされた高田てい子女史が執筆して下さる筈です▲オハナシの筆者山本琴子女史は近く輕井澤に赴かるゝ筈。短歌の寄稿者安中花子女史は甲府より歸京一兩日中に編輯室を訪はるゝ筈です▲漸く往來の繁さを見て、夏期休暇の期節になつたかと、忙しき同人等は今更らに驚かされて居ます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ケ月（四部又は五部）金三十錢
△三ケ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、三、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

十八

大妻技藝學校
第三回 個人教授 夏季講習會

一、會場　東京麴町區上六番町七番地

一、科目及び講師（科目イロハ順）

生花盛花投入茶の湯
縫細工科
絹細工科
摘細工科
袋物科
編物科
作法科

久野連峯　大妻一惠　本間喜美子　矢吹鐵遠　吉岡房丈　青柳優子　横山芳山　遠野喜代子　高橋柳子　清水紅子　南守譜吾

裁縫科
儀式用折形並に水引結方科
刺繡科
絞花科
摘細工科
染絞科

大妻一惠　奥平加賀惠　山内千代　大妻一子　水野佐代子　青柳鐵子　矢吹一惠　大妻すて　下野篤夫　宮田登喜子

大妻技藝學校
電話番町一二二〇番
振替口座東京三一六〇九番

開催期日　七月廿日ヨリ八月卅日迄期間中ハ何時デモ入會ガ出來マス。但各科ノ講習細目ハ入會ノ日ヨリ凡ソ二週間以內ニ出來マス

時間　各科共午前八時ヨリ午後四時迄個人教授ノ方法デ教授シマスカラ何科デモ隨意ニ兼修スルコトガ出來マス

講習科　普通科金壹圓五拾錢高等科金貳圓兼修不要

器具及材料　御持合セノ品ハ御持參御隨意デス御持合セ無イ方ハ當校内ニ全部取揃ヘテアリマスカラ實費デ御讓リ致シマス

入會申込手續　御志望ノ方ハ入會申込書ニ希望ノ科目ヲ記入シテ會費ト共ニ入會ノ日迄ニ差出シヲ乞フ

講習證書　規定ノ科目ヲ修了シタ方ニハ講習證書ヲ差上ゲマス

寄宿　遠方ノ方デ當地ニ御親類ノ無イ方ハ御志望ニヨリ本校內ニ寄宿ヲ許シマス寄宿料ハ一日分食費、舍費、寢具、電燈、風呂等一切デ參拾五錢一ケ月以上寄宿ノ方ハ當校ノ別ニ定メタ規定ニヨリマス

本校在地及ビ注意　遠方ノ方ハ當市內ノ何レノ驛ニ御着キニナリマシテモ御荷物ノ御送ヲ驛ニ托セラレ電車デ靖國神社横（富士見町）迄ノ切符ヲ買ヒ求メラレ下車シテ左ニ牛丁坂ノ途中デアリマス

參觀　參觀御希望ノ方ニハ實習並ニ製作標本ヲ御覧ニ入レマス

校則並ニ講習細目　御入用ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ

夏期講習會

八月一日ヨリ四週間
使用機械有限、急至申込あれ
（規則進呈）東京有樂町一ノ五

ミシン刺繡科
ミシン裁縫科
シンガー裁縫院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印　赤　白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元　甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門　大野醫院

（入院隨時）
院長　耳鼻咽喉科　大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設ケアリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二三五七

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立　**櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

マッサージ夏期講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、場所　牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日　自七月十六日至七月卅一日／自八月一日至八月十五日／自八月十六日至八月卅一日　日曜日を除き毎日午前二時間
一、人員　一回十人を以て定員とす
一、講習料　金拾圓也前納の事
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す
一、特典　講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は研究に出席する事を得

講習主催者及主任　女醫　藤井孝子

右御希望の方は至急牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

産科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京　二二三一番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醫學博士　高木兼寛男題辭
文學博士　澤柳政太郎序文
文學博士　井上哲次郎序文

香川縣女子師範學校教諭
後藤靜香先生新著

女教員の眞相及其本領

□四六判四百六拾頁裝幀優美　□定價壹圓貳拾錢　送料八錢

赤裸々なる眞相の上に女教員問題解決の根據を置く獨特の本領を高調して女教員活動の新天地を開拓する。女教員改善策を其根本精神に遡つて實際的に論ずる男子を戰慄せしむるが如き女教員側の叫びを極めて大膽に紹介する健康問題の一篇は特に高木男爵の閱を經たる大文字である。要するに本書は著者の女教員に對する愛護の熱涙が凝結したる指針であり福音である。凡ての女教員、學校長、視學其他苟くも國民教育の前途を思ふ凡ての人々に一讀を望む。

高島平三郎著

婦人の生涯

好評三版

四六判天金布製頗美本▲定價壹圓四拾錢稅拾貳錢

（內容一斑）左の如し

△婦人の生涯△嬰兒の力△少女の力△嫁と姑△少女期を終るまで△青春の悶△煩悶の意義△煩悶と自覺△結婚と人生△女子と結婚△新家庭を作る人の為に△家政と經濟△學問と實際△一家和合の道△夫婦の間△親子の情△婦人の長所と短所△婦人の心理△麗はしく和合せる嫁姑の實例△氏か育ちか△日本の新らしい女△心の衛生△性慾問題△子に對する親の愛△里子に就て△貧にも戀にも悠々たれ（以下略す）

高橋醫學博士著・價四十五錢
養生の話

山本瀧之助著・價四十錢
模範日

竹中繁次郎著・價一圓廿錢

高島平三郎著・價二圓八十錢
教育に應用したる兒童研究

沼田笠峯著・價八十錢
婦人の行くべき道

若林海軍中佐著・價一圓半
通俗科學の話

岡村準一著・價二圓廿錢
兒童保護の新研究

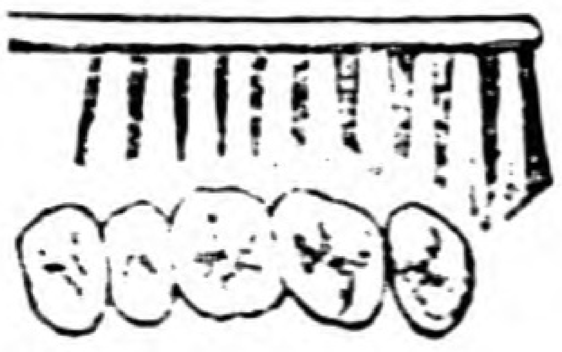
稻葉幹一著・價一圓卅錢
兒童健康法

發行所　東京市麴町區平河町五丁目　振替口座東京二〇九一四一番　洛陽堂　（電話番町四二五八）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

完全消毒

『萬歳』齒刷子



「萬歳」齒刷子の特長

一毛束の大さや長さが、一つ一つ違へてあつて、其先が尖らしてありますから、大小の齒の間や咀嚼面の凸凹部をうまく磨ける様になつてゐます。

一毛束の列へ方を齒列に合ふ様にしましたから、普通の楊枝の届かない奥齒の奥まで具合よく磨けるやうになつてゐます。

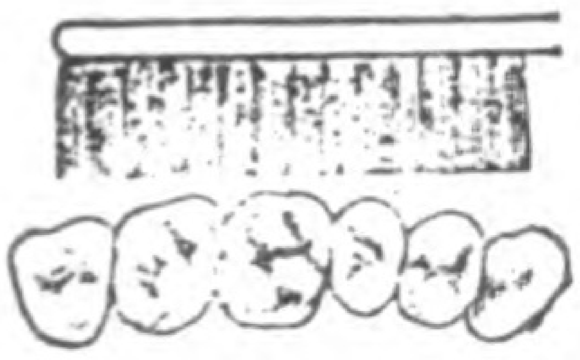
一男子用、婦人用、子供用と分けて、それに硬軟大小とありますから、銘銘自分に適するものを撰んで使へる様になつてゐます。

一毛束の間に隙が拵へてありますから、洗ふにも乾かすにも便利でございます。（尚乾かす時には柄の端にある孔を釘にでも掛けると宜しい。）

一柄を外に向けて持ち易く使ひ易くしてあります。

一大さを日本人向に致しましたから、舶來品にある様な不便はありません。

一消毒の上、嚴重に封じてありますから病菌傳染の憂もなく誠に氣持が宜しうございます



普通の齒楊枝の缺點

▽定價

男子用	二十五錢
婦人用	二十錢
子供用	十五錢

ライオン齒磨
ライオン石鹸
本舖 東京本所區外手町 小林富次郎
大阪市南區博勞町二丁目
名古屋桑名町四丁目

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA